
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目6番4号

近自無協だより

天満橋八千代ビル 4階

一般社団法人 近畿自動車無線協会

No.253 令和6年7月 夏号

Tel 06-6941-4600

Fax 06-6946-1660

近自無協 令和6年度通常総会 開催される

～ 自営無線、IP 無線、アプリを統合し、速やかな移動サービスの更なる提供を ～

当協会の令和6年度通常総会は、去る5月23日(木) 午後3時から、大阪城すぐそばの「ホテルモントレラ・スール大阪」で、会員等総勢106名の参加のもと開催され、全ての議案が原案通り可決承認されました。

池田 英憲 副会長が開会の辞を述べたのにつき、挨拶に立った坂本会長は、会員各位の出席並びに平素の活動に対する支援への謝辞と、表彰した防災・防犯への貢献や永年の無線活用等による無線関係優良従業員表彰受賞者への祝辞を述べるとともに、「業界の話としては、コロナが明けて人の動きも戻りインバウンドも増え一時担い手不足に陥ったが、その後各地の運賃改定により賃金アップも図られ乗務員も増えてきている。特定の時間や場所での供給不足については、自家用車活用事業が既に京都で始まり、大阪、神戸でも始まるようとしているところ。ただ、供給過剰にならないように見ていかなければならない。規制改革推進会議ではライドシェアありきで話が進められているが、全タク連・業界としては、国に



挨拶する坂本会長

対し「拙速な結論は出さないように」と申し上げているところ。素晴らしいサービスを提供してくれているドライバーのためにも、受給バランスをよく見ながら結論を出していただかなければならない。

無線については、元々の自営無線がIP無線に変わり、IPも止めてアプリだけになるような状況が見られるようになった。無線は災害時などいざというときはインフラとして情報を提供する。大事にしていかなければならない。だが、設備の老朽化や無線室スタッフ確保の問題、無線機メーカーも減ってきているなど社会環境の変化の中でIP無線に変わり、特に都市部ではアプリにより無線を止めていく原因ともなっている。一方地方都市ではアプリもそれほど普及しておらず、まだ無線を使っているのが現状である。

こうした中、無線、IP、アプリなどのいろんなシステムを統合しながらお客様への速やかな移動サービスをもっともっと提供していくことが我々の存在感を高めることになる。協会として結集していただきいろんな知恵を出していただきながら頑張っていかなければならないと考えているのでよろしくお願いたしたい。

ご承知かと思うが、上部組織の全国自動車無線連合会が悲しい話だが今年の総会で解散するとの話になっている。会員数、移動局数が減って、運営が困難になってきたということで早めの決断を行うとのことである。ただ、自営無線の免許更新など総務省との関係などがあることから、各地方協会も当面やっつけようとなっており、1つの組織として関東自動車無線協会を事務局に全国の地方無線協会の連絡協議会を作ろうという話になっている。当協会もまだ何とか体力もあり自営無線も多い。この組織をなくすわけにはいかないの当面やっつけよう。各地域の会員の皆さんにも残っていただければ是非ご協力をお願いしたい。」と述べました。

令和6年度通常総会 報告

議事進行の概要

会長あいさつの後、出席会員 47 名と委任状及び書面表決書の提出会員 51 名の正会員 98 名の出席により総会成立が報告され、坂本会長を議長に、次の議案がそれぞれ審議、承認・決議等されました。

議案 ① 令和5年度事業報告、② 令和5年度決算報告・監査報告、③ 令和6年度事業計画、④ 令和6年度収支予算、⑤ 役員の一部改選、⑥ 令和7年度通常総会開催地。

令和6年度の取り組みとしては、タクシー無線サービスの一層の向上のため、IP 無線利用会員等への支援や無線配車システム導入のためのサポートなどが課題となっています。

予算については、前年度に引き続き赤字予算となっており、事務局経費等の一層の経費削減に努めっていますが、新年度も IP 無線移行や非無線化などに伴い会費収入が更に減少する見込みであることから、今後の組織・財政両面での早急な改善策の検討が必要となっています。



役員の一部改選では、理事の異動等の辞任に伴う補選として、大阪府タクシー事業協同組合理事長 谷 充 氏、阪神タクシー株式会社代表取締役社長 福浦 秀哉 氏、株式会社帝産タクシー滋賀代表取締役社長 喜多 正美 氏の3氏を新たに選任しました。任期は来年の通常総会までとなります。

また、来年度通常総会の開催地については、これまでの慣例の府県持ち回り順に従い京都府内とすることが決定され、すべての議案が、提出された書面表決書等を含めて満場一致で承認、選任等されました。

その後、休憩を挟み、ご来賓の各機関のご代表からご挨拶を頂戴しました（要旨を4頁、5頁に掲載）。

最後に、来年度通常総会の開催地となった京都の 兼元 秀和 副会長から「全自無連が解散ということで何か力が入らないのが現状だが、京都のメンバー一同で協力して準備をしていきたいと思っている。お楽しみ。」と閉会のことが述べられ、総会は終了しました。

なお、総会会場前ロビーでは、午後2時から、賛助会員の システムオリジン、西菱電機、デンソーソリューション、新潟通信機、モバイルクリエイトの5社のほか、配車アプリの GO、S.RIDE、DiDi も加わり、無線機・配車システム・配車アプリの展示・相談も行われました。



賛助会員等による機器・アプリ展示

続いて、別室にて開催され懇親会は、濱本 民夫 副会長が、「見通しの悪い中で、知恵と行動力を集めて、坂本会長の上手な舵取りの下、弱っていくのではなく強く鍛えて前に進んでいこう」と力強く挨拶。そして地元の 岡本 昇 大阪運輸支局長のご挨拶と乾杯の発声で和やかに始まりました。

そして懇談は、副会長の 吉川 紀興 副会長の中締めの「全自無連は解散するが、数において自営無線は大事。間違いない。それを守ることによって震災や災害において無線は非常に大事」との言葉で、

名残惜しい中お開きとなりました。



懇親会の挨拶 濱本 民夫 副会長



挨拶・乾杯の御発声 岡本 昇 大阪運輸支局長

無線関係優良従業員13名が表彰される

通常総会に先立ち、「令和6年度無線関係優良従業員表彰式」が執り行われ、4月23日の理事会で選考された13名の方々の表彰が発表されるとともに、式典に出席した代理を含む受賞者8名に坂本会長から表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。

1 発明、人名救助、犯罪防止・災害時対応等の功労により表彰（2名）

守山タクシー株式会社 三品 知寛 様

令和5年1月24日、大雪によるJR運行中断で多くの帰宅困難者が発生した際、いち早く市役所へ通報するとともに、通報により開設された一時待機所の周知と待機所への誘導を数回にわたり行うなど、市民の安全確保に大きく貢献されました。

ダイヤ交通株式会社 藤田 和史 様

令和5年6月28日、タクシー車内に放置された物品に犯罪性を疑い、ドライブレコーダ映像や無線機器により走行ルート等を確認し速やかに警察署に通報することにより、盗難事件の早期解決に貢献されました。

2 自動車無線に永年従事し勤務成績優秀により表彰（11名）

大阪トンボ交通株式会社	山添 康治 様	仲川交通株式会社	仲川 正豊 様
南タクシー株式会社	田中 秀正 様	南海アーバン交通株式会社	浅井 克浩 様
近鉄タクシー株式会社	中嶋 剛 様	阪神タクシー株式会社	石川 恵子 様
西神交通株式会社	本多 秀光 様	古市交通株式会社	天野 繁一 様
全大阪個人タクシー(協)	伊藤 留美子 様	松原交通株式会社	前田 陽洋 様
大丸タクシー株式会社	木村 正直 様		



来賓ごあいさつ

公務ご多端の折、次の方々にご臨席いただき、ご挨拶を頂戴しました。併せて、全自無連の高野会長からのメッセージも掲載いたします。



総務省 近畿総合通信局 局長 菱沼 宏之 様
無線通信部長 棚田 剛 様
上席電波検査官 中野 勝仁 様
電波検査官 清松 淳 様

近畿総合通信局長 菱沼 宏之 様 ご挨拶 (要旨)

1月に能登半島地震があったが、タクシーは被災した方の生活の足として、復旧、復興のため現地入りされる関係者の方の足として、さらには観光事業を含めた身近なモビリティ手段として大いに活躍されている。最近、AIによる自動運転の動きや、配車アプリ、IP無線、関西MaaS等タクシー無線を取り巻く環境は非常に大きな動きとなっている。一方で高齢化も進展しており、運転免許を返納された高齢者の方にはスマホ手配よりも音声電話での手配を好まれる方もいらっしゃるかもしれない。経済活動や日常生活の身近な移動手段としてタクシーが活用されることをますます期待している。

昨今のDX、ICT化の進展で、様々な利用者ニーズを踏まえて事業者の方も様々な手段でサービスを提供されているが、タクシー無線を有効に活用いただいて、今好調なインバウンドも含め賑わいを演出いただければと思っている。

大阪・関西万博まで1年を切った。「空飛ぶクルマ」など関西の賑わいに向けた取組みの進展を期待するが、総務省でもAI多言語同時翻訳サービスの提供や次世代の通信インフラBeyond 5G(6G)のショーケースの展示を計画している。現在気運醸成の取組みも進めている。是非お立ち寄りをお願いしたい。



国土交通省 近畿運輸局 自動車交通部長 北川 健司 様
旅客第二課長 黒坂 直樹 様
大阪運輸支局長 岡本 昇 様
首席運輸企画専門官 中村 洋一 様

近畿運輸局 自動車交通部長 北川 健司 様 ご挨拶 (要旨)

昨年は社会経済に多大な影響を及ぼしたコロナ禍が収束し、ポストコロナ時代の社会構造の変革となっており、DXなどタクシーの利便性の向上の動きが急速に進展している。スマートフォンだけでアプリ配車、キャッシュレス決済などが完結出来る仕組みは、どんどん広がっていくものと考えている。

その中で、タクシー無線については、これまでもタクシー会社を指定して呼ぶことができる地域に根付いたサービスとして大きな社会的役割を果たされてきたところ。現在、スマートフォンによるアプリ配車が増えてきているが、高齢者などスマートフォンに不慣れな方、また配車アプリの導入が進んでいない地域においては、オペレータによる無線配車は大切な利用手段であるので、今後とも、無線によるサービスを提供していくことは重要であると考えている。

日頃の輸送の安全確保はもとより、タクシー無線の特長を生かし、地域・利用者のニーズへのきめ細かな対応について、坂本会長が中心となって、無線事業の発展と組織の強化について、業界が一丸となって取り組んでいただいていることに改めて敬意を表する。

本日、防災・防犯に貢献された方など13名の方が表彰されたが、タクシー無線は、地域の防災・防犯対策にも活用されており、タクシー事業を所管する我々としても引き続きタクシー無線が社会に貢献する役割を果たしていられることを期待している。



大阪府警察本部 交通部参事官 牧野 哲男 様
旅交通総務課 管理官 田中 重好 様
安全指導第一係長 今泉 範夫 様

大阪府警察本部 交通部参事官 牧野 哲男 様 ご挨拶 (要旨)

大阪府下の交通事故の情勢をお話するが、昨年、一昨年と全国ワーストであった。今年は昨年同時期に比べマイナスになっているが43名の方が亡くなっている。大阪ではイラチ運転撲滅、自転車マナー対策、高齢者対策を重点に実施しているが、私どもだけでは手に負えないので皆様の協力をいただきながら進めたい。本日は資料の中にチラシを入れさせていただいたが、「路上横臥」による死亡事故について特にご協力をお願いしたい。昨年は11名であったが今年は既に5人。飲酒者だけでなく高齢者なども多い。夜間が多く事故を避けるのはなかなか難しいと思うが、ご留意いただきたい。

そして、横臥者を発見されたら、無線で流していただいて、オペレータの方から110番へ通報頂き、場所等の一報をいただければありがたい。すぐに現地へ向かい救助等を行う。

来年は関西万博が開催され内外から多くの方が来阪されるが、良好な交通環境の構築に努めているので、是非ご協力をお願いしたい。



貴総会開催に寄せて (一社) 全国自動車無線連合会 高野会長メッセージ

緑まぶしいこの季節に、貴総会が開催されますことに、お喜びを申し上げます。

コロナ禍が明けたといえ、業界の近況は歴史的な円安・株高や燃料高騰に加え、運転手不足など、厳しい経営環境が続く中、日本版ライドシェア(NRS)が始動し、競争的顧客確保や配車供給の見直しなど、タクシー事業の経営形態が大きく変容しています。

このような状況の中、事業継続と無線による適正な配車供給に努められ、ご苦労されていることと拝察いたします。

さて、全自無連の目的であるタクシー無線の普及促進は、2005年には、無線局数23万局、車両無線化率99%を達成させ、その後、無線デジタル化によるデジタル改革(DX)を進めました。

しかしながら、現在、タクシー無線局数は65,000局を切り、更なる減少を続けている状況です。

このため当連合会では、会費の減少を受けて厳しい財政状態に至り、64年の活動に区切りをつけ、来たる6月13日に開催する第64回通常総会において「組織の解散決議」を提案することといたしました。

今日のタクシー事業の隆盛は、無線なしでは果たせませんでした。これまで色々な苦難がありましたが、有終の美を飾れるのも皆様のご協力の賜物と感謝を申し上げる次第です。

今後については、任意団体ではありますが、「全国自動車無線連絡協議会」の設立を提案いたします。タクシー配車の形態はアナログからデジタルへ、デジタルからIP、その後アプリへと時代とともに活用方法が変化し、この先は次世代にバトンを渡し見守りたいと存じます。

本来ならば、貴総会に伺って直接ご挨拶申し上げるべきところですが、本メッセージに代えて御礼と連帯の意を表します。

全自無連 第64回通常総会 「解散」を決議

～ 64年の歴史に幕を下ろす ～

一般社団法人 全国自動車無線連合会 第64回 通常総会



全国自動車無線連合会は6月13日、東京都千代田区の「東京グリーンパレス」において第64回通常総会を開催し、同会を解散する特別決議を全会一致で承認し、タクシー事業の利便性と公共性を築いてきたタクシー無線の団体がその64年の歴史に幕を下ろすことになりました。

冒頭、あいさつに立った 高野 公秀 会長は、「タクシー無線ピーク時23万局、装着率99%。現在は6万数千局4分の1強程に減少した。資金面で運営ができず、債務超過にならないうちにこの組織を発展的に解消することが最良

の選択であると決断した。創業以来私の父（高野将弘氏）や坂本克己最高顧問の父上（坂本長作氏）はじめ幾多の先人が創設に関わってきたが、私が責任をもってクローザーを務めると、誰でもなく私がやるとの決意のもとに今日の総会を開いた。重い決断を共に決定していただきたいのが本総会の意義である。

無線の黎明期、真空管の重い無線機を後ろに積んで走った時代から、トランジスタの時代、IC、そしてアナログ無線からデジタル無線、今度はIP、そしていよいよ車を呼ぶ方法はアプリへと時代はものすごいスピードで変わってきている。DXを日本が進めている中で、タクシー事業もこうしたIT関連と複合的に絡みながら進化しなければならないと思う。また自動車自体も進化した。コネクティッドカー、ガソリン・LPGからハイブリッドそしてEVへ、更には水素と、このスピードについていかなければならない。そんな中でできたのが、タクシー業界を根底から変革してしまうかもしれないライドシェアという新たな産業だ。我々はいくらデジタル化が進んでも安心・安全が担保されない限り（ライドシェアは）認められるものではないと懸命に世論に訴えかけ説明しているが、防戦を強いられ予断を許さない。こうした動きを注視しながら対応する必要がある。

こうした激動の中で、全自無連の歴史を振り返り、業界の未来に思いを馳せ、どう変革していくのか、先人が苦勞して築いたこの業界をどう守り正常に発展させるかを考えるいい機会でもあるのではないかと考える。

この後については、全自無連の下に全国10の無線協会がある。この協会と協会長に委ねていく。現在も6万数千局の無線車が走っている。度重なる震災時や災害時には無線はなくてはならない絶対的なツールである。無線は大事なんだと認識していただきたい。そうした中、それぞれの地域の実情に応じてそれぞれの協会がご判断いただくということで、全自無連は64年の歴史に幕を閉じるということになる。全自無連がこのままあって赤字超過で皆さんにご迷惑をかけるよりはとの思いはご理解いただきたい。断腸の決断だった。後の処理もあるが皆様の協力を得ながら、各協会とまだまだ連携を取りながら進めたいと考えている。64年の歴史に誇りを持ち、胸を張って有終の美を飾り、けじめをつけて終わりたいと思っているので何卒よろしくお願ひしたい」と訴えました。

議事では、前段で、令和5年度の事業報告、決算報告を承認するとともに、特別決議として、連合会の解散決議が提案、全会一致で決議されました。併せて清算人の選任等を行い、高野会長を代表清算人に、今後清算事務を進め、10月23日頃までに解散（清算）総会を開催し清算決了を経て正式に解散する運びとなっています。

承認決定された議案

- 第1号議案 令和5年度事業報告に関する件
- 第2号議案 令和5年度決算報告及び監査報告に関する件
- 第3号議案 特別決議の提案に関する件
- 第4号議案 清算人の選任等に関する件

また、来賓には、国土交通省 鶴田 浩久 物流・自動車局長はじめ、総務省 荻原 直彦 電波部長、全タク連 川鍋 一郎 会長のほか、(一財)情報通信振興会 寺崎 明 理事長ら電波関係団体のトップが多数出席、解散を迎える中でこれまでの功績をたたえるなどの温かい挨拶が続きました。



最後にあいさつに立った 坂本 克己 最高顧問は、「まとめのことば」として「私も近畿協会 21 年、全自無連 6 年とお世話になり心から御礼申し上げる。全自無連草創の 高野 将弘、黒土 始 大先輩らは『社会との共生』を強く言われた。日本のタクシーここに在りといわれた所以は社会的な使命を果たしてきたからであり、タクシー無線がなければそれは絶対になかった。無線があればこそその防災、防犯であり、無線は残る。新しい仕組みがあるはずである。各ブロックの協会が国交省と総務省の架け橋的な存在になる。本日は、一つの節目であり、限界点を迎えたということであるが、私としては新しい再生、再興の日との気持ちである。一先ずありがとうございましたと述べ、引き続き頑張っていこう」と締めくくりました。

第3号議案 特別決議の提案に関する件

全自無連は 1960 年(昭和 35 年)12 月 8 日に設立され、本年、64 年を迎えます。

わが国の経済成長期から今日のデジタル改革に至るまで、タクシー無線の普及促進をはじめ、タクシー事業における技術と経営の改善発達や関係行政機関・関連団体との連絡調整などを全国において行ってきました。

その成果は、全国のタクシー事業の経営改善と繁栄だけでなく、タクシー無線による地域の安全見守りや災害時の救援・移動支援など、数多くの社会貢献を果たし、わが国の陸上運輸行政及び情報通信行政の推進にも深く寄与してまいりました。

70 年前のタクシー無線の誕生は、タクシー事業の産業革命ともいわれ、わが国の経済成長を支え、また、20 年前の無線のデジタル化は、世界の先導的なデジタル改革としてタクシー事業の発展を推進しました。

その後、モビリティ社会全体のコネクティッド化とソフトウェア制御への進化により、タクシーの配車供給形態は自営無線から IP 無線、アプリ配車へと大きく変容し、自営無線局が減少し、全自無連による会員支援活動の維持継続が困難となりました。また、タクシー事業の DX 化に対応できる会員支援策が具体化できず、全自無連の組織維持も難しくなりました。

こうした電波利用社会の変化と今後の見通しから、これまでの活動に一旦区切りをつけ、ここで全自無連を解散することを提案します。

[特別決議]

一般社団法人全国自動車無線連合会を解散することを決議する。

令和 6 年 6 月 13 日

全自無連第 64 回通常総会

本年度の無線従事者免許講習会について

自営無線をお使いの会員へは既に府県支部等からFAX等にて案内していますが、2月の事前の受講希望調査結果に基づき、本年度の従事者免許講習会を次のとおり開催します。追加等で受講を希望される方は、本ページをコピーし必要事項を記入の上、そのままFAXにてお申し込みください。

- ◇ 日 時 令和6年9月6日(金) 8時45分～18時10分
- ◇ 場 所 天満研修センター 大阪市北区錦町2-21 TEL:06-6354-1927
大阪環状線外回りで、JR大阪駅から1駅目「JR天満駅」下車 北東側 徒歩約5分
- ◇ 内 容 電波法規、無線工学の講習及び終了試験
- ◇ 受講料金 協会会員 1名当り 15,000円(教材、受講料、免許申請用収入印紙代込み。)
(注) 講習会の詳細については、受講決定後、改めてご連絡いたします。
- ◇ 申込期限 7月26日(金) までにFAX 返信お願いします。
- ◇ FAX 番号 06-6946-1660 まで

令和6年度 無線従事者免許講習会 FAX受講申込書	
9月6日(金) 8時45分～18時10分 大阪市北区:天満研修センター	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	昭和 / 平成 年 月 日
電話番号	勤務先/自宅/携帯
勤務先名	
勤務先住所	郵便番号 〒
本書記入担当者様 (ご本人の場合は 記入不要です。)	お 名 前 電話番号等

 一般社団法人 近畿自動車無線協会 のホームページ、電子メール 

Web 検索 「近畿自動車無線」

近自無協メール kinmukyo@garnet.broba.cc 電子申請メール dkinmukyo@dmail.plala.or.jp